

2020年(令和2年)度 事業報告

1、電話相談受信状況

① 総相談件数	9209件	一日平均 約25件	男女比	50.9%	49.1%
② 相談時間	約42118時間	一件あたりの時間 約27分	男女比	38.1%	61.9%
③ 自殺に触れた件数	821件(全相談件数の8.9%)		男女比	45.7%	54.3%

2、相談体制

(1) 相談時間 年中無休24時間

(2) 相談員数

2019年度	登録相談員165 (実働相談員131・休務34)	実習16
2020年度	登録相談員174 (実働相談員125・休務49)	実習16
2021年度	登録相談員169 (実働相談員101・休務68)	実習24 * 参考

(3) 相談員研修

- ① 班別研修 各班毎に年間6回奇数月に実施予定を、第1回は新型コロナウイルス感染症に関連して中止。5回実施。
- ② 全体研修 年間5回偶数月に実施予定を、第1回は新型コロナウイルス感染症に関連して中止し、2月に第6回として実施。
- 第1回 6月 新型コロナウイルス感染症対応で中止
- 第2回 7月4日(土) コンパルホール集会室 * 8月開催分
「新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識と不安への対応」
医療法人善慈会大分丘の上病院院長 帆秋善生 氏
- 第3回 10月4日(日) アイネス
* 第1回大分県自殺対策講演会と兼ねる。
- 第4回 12月12日(土) アイネス
「新型コロナウイルス感染症流行下における支援者の役割」
大分県こころとからだの相談支援センター所長 土山幸之助 氏
- 第5回 2月14日(日) アイネス
* 第2回大分県自殺対策講演会と兼ねる。
- 第6回 2月27日(土) アイネス * 第1回分
「いのちの電話を取り巻く状況及びフリーダイヤル等の取組について」
大分いのちの電話業務執行理事・事務局長 勝谷 齊

3、広報活動

- (1) 通信誌(103号、104号、105号)、事業報告の発刊
- (2) マスコミ(大分合同新聞 6/1 10/1 読賣新聞 5/30 テレビ大分 10/27)

4、啓発活動

(1) 大分県自殺対策講演会(主催 大分県・社会福祉法人大分いのちの電話)

○ 第1回講演会

10月4日(日) アイネス

- 「虐待の淵を生き抜いて 一人にも自分にも当たらない社会を目指して」
一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長 島田妙子 氏
- 「発達障がいのある人とともに生きる」
大分大学福祉健康科学部講師 池永恵美 氏

○ 第2回講演会

2月14日(日) アイネス

- 「こころと身体の叫びを聴く」
中村学園大学学長 久保千春 氏
- 「自死遺族対応の基本姿勢と遺族ケアの実際」
大分県スクールカウンセラー 稗田真由美 氏

(2) 県内他機関主催の講演会・研修会への法人関係者の講師派遣

* 今年度は、新型コロナウイルス感染症に関連して、派遣無し。

(3) 第15回カウンセリング公開講座・第37期電話相談員養成講座

※ 2020年度 受講者29名 (相談員養成講座全課程修了者24名)

※ 2019年度 受講者25名 (相談員養成講座全課程修了者16名)

※ 2018年度 受講者23名 (相談員養成講座全課程修了者17名)

5、財務活動

期間 2020年4月 ~ 2021年3月

郵送依頼 644 件

個別訪問 23 件

自殺対策講演会、チャリティバザーでの募金活動

* 日本財団からのコロナ禍対応としての補助(2021年度予算へ)

コピー機71.5万円、パソコン4台80万円、家賃補助84万円 計235.5万円

6、感謝状贈呈

・相談員表彰 12月12日 30年表彰5期生1名、20年表彰15期生5名、10年表彰25期生4名

7、関係機関・団体との連携

- ① 大分県福祉保健部障害福祉課(県駐車場の利用可)
- ② 大分市民のこころといのちを守る自殺対策行動計画策定推進委員会
- ③ 大分県自殺対策連絡協議会
- ④ 大分県被害者等支援連絡協議会
- ⑤ 大分南警察署被害者等支援連絡協議会
- ⑥ 総務省大分行政監視行政相談センターへの情報提供(12月4日)

8、日本いのちの電話連盟関連

定時総会(東京都)	新型コロナウイルス感染症に関連して書面出席
日本自殺予防シンポジウム(松江市)	新型コロナウイルス感染症に関連して中止
九州・沖縄地区ワークショップ(福岡市)	新型コロナウイルス感染症に関連して中止
いのちの電話相談員全国研修会(三重県)	新型コロナウイルス感染症に関連して延期

9、チャリティバザー等

- ① 大分いのちの電話のためのチャリティコンサート(主催 佐伯ロータリークラブ)
新型コロナウイルス感染症に関連して中止
- ② 大分いのちの電話支援チャリティコンサート(主催 讚美歌・典礼聖歌を歌う会)
新型コロナウイルス感染症に関連して中止
- ③ 開局34周年チャリティバザー
新型コロナウイルス感染症に関連して法人内部に縮小して実施

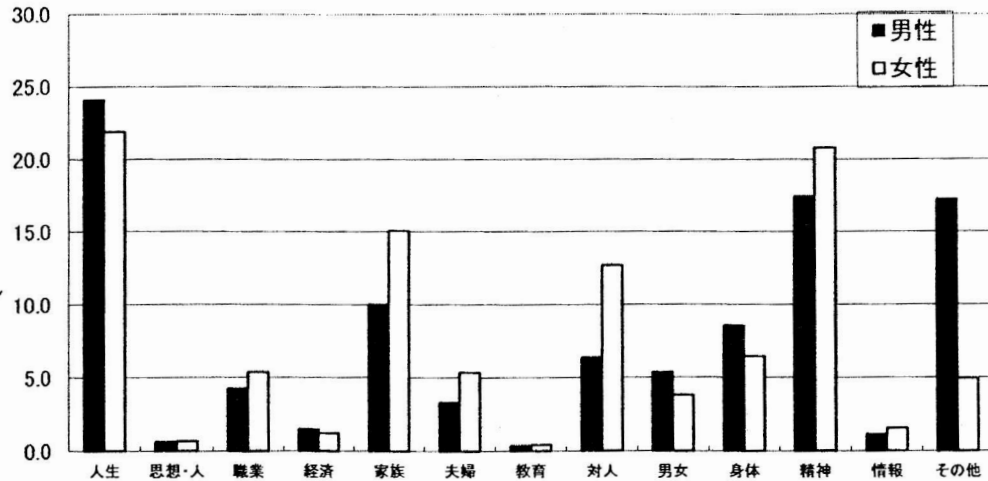
10、各種委員会等

理事会(2回)	評議員会(2回)	運営委員会(8回)	財務委員会(8回)
スーパーバイザー会(2回)		世話人会(6回)	研修委員会(6回)

2020年 大分いのちの電話1～12月受信状況

- 1 総相談件数 9,209 件
- * 一日平均 25.2件
 - * 男女比 50.9% 49.1%
- 2 相談時間 252,709分
- * 1件当たりの時間 27.1分
 - * 男女比 38.1% 61.9%

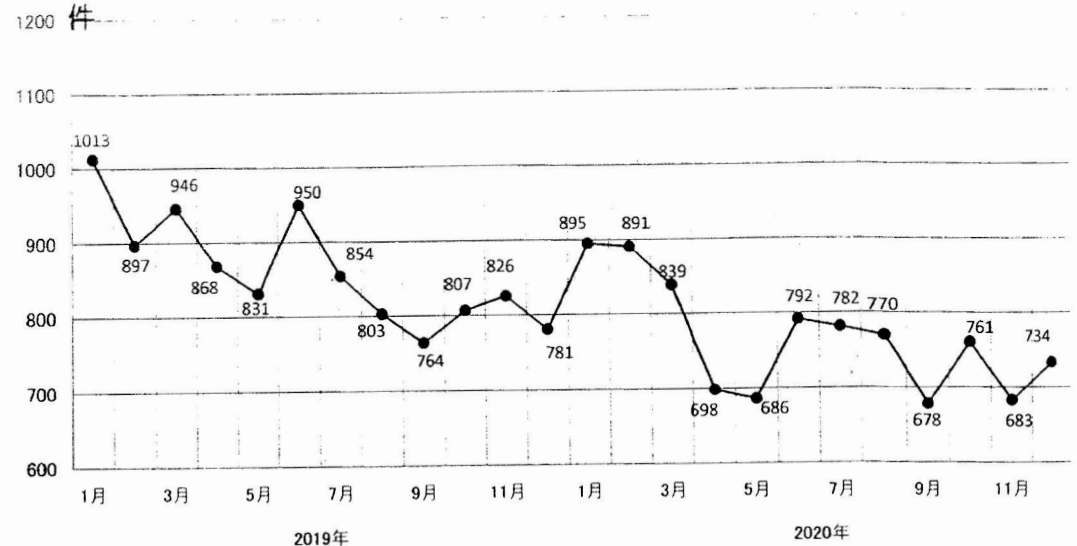
3 相談内容 (%)



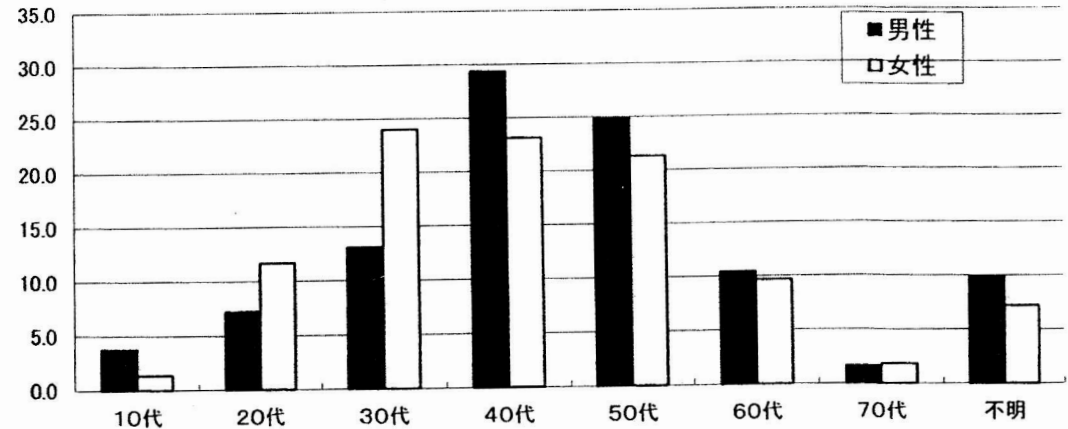
☆男女別相談件数 (件)

性別	順位	項目	%	相談内容
	男	1	人 生	24.1
2		精 神	17.4	うつ・統合失調症・嗜好行動・自傷行為・性
3		その他	17.2	攻撃・いやがらせ・いたづら
4		家 族	10.0	子育て・扶養・介護・家庭内暴力・虐待・不満
5		身 体	8.6	慢性疾患・難病・ガン・HIV・その他の疾患・性
女	1	人 生	21.9	生き方・孤独・死別・事故・事件
	2	精 神	20.8	うつ・統合失調症・その他の疾患・自傷行為
	3	家 族	15.0	子育て・扶養・介護・家庭内暴力・虐待・不満
	4	対 人	12.7	ハラスメント・いじめ・孤立・性格・不和・トラブル
	5	身 体	6.4	慢性疾患・難病・ガン・HIV・その他の疾患・性

4. 月別受信件数



5. 自殺にふれた相談件数 (%)



6. 自殺にふれた件数

1～12月 821件 (相談件数の8.9%)

*男性375件 女性446件

*自殺傾向のある相談内容

1位精神32.8% 2位人生32.5% 3位家族8.9%

2021年度（令和3年度） 事業計画

1、電話相談体制の継続

(1) 年中無休24時間体制の維持

① 相談員数(2021年4月)

登録相談員 169名 実働相談員 100名 休務相談員 69名 実習相談員(37期生) 24名

② 相談員の確保

○担当

- ・担当回数の基準の再考
- ・相談シフトの工夫、フリーの活用
- ・深夜帯への協力依頼(年に1~2回の担当)
- ・休務者への連絡(コロナ感染への対応を配慮しつつ)

○研修

- ・研修参加の基準の再考
- ・現状に応じた研修内容の設定
- ・映像による補講(従来は音声のみ)

○資格更新

- ・SVによる個別支援での認定の方法の追加

○相談員へのケア等

- ・個別ケアの推進
- ・相談員による自主的交流会

○福利等

- ・相談員表彰や文集等による相談員同士の連携
- ・夜間休日担当者の県庁駐車場の利用

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・室内における消毒等予防の徹底
- ・相談員の体調把握
- ・非常時の緊急体制

(3) 日本いのちの電話連盟及び九州・沖縄地区いのちの電話との連携・協力

- ・情報交換意見交換の充実(事務局会議、ワークショップ)
- ・新しいスタイル(ウェブ会議)

(4) 電話相談活動の各種資料・図書の整備・充実

- ・図書「自殺予防いのちの電話」「ムズカシイ電話相談をどう受ける」その他研修資料の活用

2、第38期電話相談員養成講座

(1) 募集

- ・マスコミや市町村の広報紙を通じての募集案内の拡大
- ・HPにおける募集記事の工夫(HPを見る人の増加)
- ・日本いのちの電話連盟のDVDの活用検討
- ・養成講座の受講料の学生割引の検討
通信制大学及び放送大学の学生も対象とする。

(2) 講座内容等

- ・養成期間の短縮。従来、講座は5月に開始し12月に終わり、実習を翌1月~6月の間行い、12回担当に着くことを定めていた。しかし、受講者の意欲や負担を考えるとともに、単年度予算で事業を実施する必要性から、短縮精選する。(3)の項を参照。
- ・現代社会のニーズに応じた内容の設定
- ・映像による補講。ロールプレイ等実技を伴う講座。(従来は音声のみ)
- ・受講回数の基準の検討
- ・担当(実習)回数及びスーパービジョンの基準の検討

(3) 講座日程

- ・前期課程・カウンセリング公開講座 2021年4月6日~8月3日
- ・後期課程 2021年8月17日~11月24日
- ・担当及びスーパービジョン 2021年12月~2022年3月
- ・相談員資格認審査
一次審査 2022年4月~7月 二次審査 2022年8月 認定式 2022年9月

3、37期養成講座受講生

- ・担当及びスーパービジョン 2021年3月~7月 8回参加
- ・相談員資格認審査
一次審査 2021年7月~11月 二次審査 2021年12月 認定式 2022年1月

4、研修の充実

(1) 継続研修

- ① 班別研修（5班毎）
 - ・奇数月（5、7、9、11、1、3）6回実施
- ② 全体研修
 - ・偶数月（6、8、10、12、2）5回実施 10月と2月は自殺対策講演会を兼ねる。

(2) 各種研修会

- ① 九州・沖縄地区いのちの電話事務局会議・ワークショップ
- ② 関係機関（大分市、大分県こころとからだの相談支援センター等）の講演会・研修会

5、大分県自殺対策講演会

① 第1回講演会

2021年10月31日（日） 14:00～16:30 ホルトホール大分
「コロナ禍における自殺予防 ～こころのディスタンスは縮めよう～」
福岡保養院 医師 本田洋子 氏

② 第2回講演会

2022年2月20日（日）

6、広報活動の推進

- ① 「大分いのちの電話通信」の編集・発刊 年3回
- ② 大分いのちの電話開局35周年記念相談員文集の発刊 10月
- ③ 「2020年度事業報告・2021年度事業計画」の発行 8月
- ④ チャリティバザーの開催 11月
- ⑤ ホームページによるPR
- ⑥ 関係団体での講演
- ⑦ マスコミへの取材協力
- ⑧ 支援団体主催チャリティコンサートへの協力

7、各種委員会の活発化

- ① 世話人会 奇数月（5、7、9、11、1、3）6回開催
- ② 研修委員会 偶数月（4、6、8、10、12、2）6回開催
- ③ 調査・研究委員会 研究成果の発表・還元
- ④ 事業委員会 バザー開催
- ⑤ 編集委員会 通信誌の充実
- ⑥ 広報委員会 「相談員文集」の発刊
- ⑦ 財務委員会 財務活動の継続

8、財政基盤の確立

- ① 寄付団体、助成団体の開発
- ② 支出の見直し

9、施設・設備の充実

コピー機の機種更新、パソコンの機種更新、ビデオカメラの活用

10、関係機関・団体との連携

- ① 大分市民のこころといのちを守る自殺対策行動計画策定等検討委員会
- ② 大分県自殺対策連絡協議会
- ③ 大分県被害者等支援連絡協議会
- ④ 大分県自殺予防週間街頭キャンペーン（9月10日）
- ⑤ 大分市社会福祉大会

11、日本いのちの電話連盟関係

- ① 2021年度 ブロック会議、定時総会、事務局長会議、研修担当者研修会
- ② 九州・沖縄地区事務局会議・ワークショップ

12、チャリティコンサート

- ① 大分いのちの電話のためのチャリティコンサート（佐伯市） 主催 佐伯ロータリークラブ
2022年2月6日（日） さいき城山桜ホール 大ホール
- ② 大分いのちの電話支援チャリティコンサート（大分市） 主催 讚美歌・典礼聖歌を歌う会